

事業内容

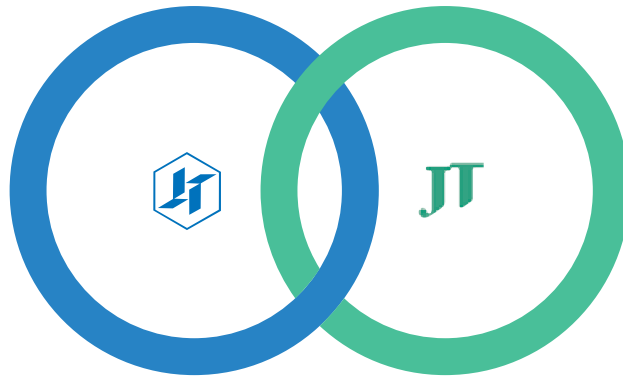
Summary of Business

JTとの協業体制

他の産業に比べ、研究開発に多くの資源を投入している製薬業界では、新薬開発のために必要な技術はますます高度化しています。また、新薬が承認を得るためのハードルは極めて高く、世の中に出るまでには非常に長い歳月が必要となります。そのような状況のもとで、鳥居薬品はこれまでに築き上げた信頼と伝統を尊重しつつ、1999年、新たなビジネスモデルを構築しました。それは、JT(日本たばこ産業株式会社)グループの一員となり、研究開発機能はJTに集中し、製造・販売の各機能は鳥居薬品に統合することで最大限の相乗効果を発揮するというものです。

また、導入活動についても独自の活動に加え、JTと連携することにより、優れた医薬品の導入を進めています。

グループとして相乗効果を発揮することで、更なる新しい力を生み出していきます。



営業活動

どんなに優れた医薬品でも、適正に使用されなければその効果は発揮されません。MR(医薬情報担当者)は、医薬品を適正に使用していただけるよう、医師や薬剤師をはじめとする医療関係者に医薬品情報を提供し、医薬品の普及に努めています。同時に医療現場からは安全性や有効性に関する情報を収集し、社内の関係者にフィードバックします。これらの活動により、既存製品の新しい情報を得るなどその可能性を広げるほか、次の研究開発へとつながる情報を得ているのです。

鳥居薬品のMRは、一人ひとりが高い倫理観を持ち、医療の一端を担っているという責任の重さを強く自覚しています。病気で苦しむ患者様だけでなく、すべての人々がより良い健康状態を実感できる社会を目指し、活動を続けています。

製造活動

人々の生命や健康に直接関わる医薬品には、より高度な品質保証と安全管理体制が求められています。

鳥居薬品は、原料の受け入れから出荷まで厳しいチェックを重ね、徹底した品質管理のもと、高品質な医薬品の製造と安定的な供給を行っています。

医薬品製造の全工程を通して品質を維持するため、かつ「安心」という目には見えない気持ちをお届けするために、徹底した管理体制を敷いています。そして、製造した医薬品の先に、それを求め、必要とする患者様やそのご家族がいることを社員一人ひとりが常に意識しています。

研究・開発活動

JTでは「国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築」による「オリジナル新薬の開発」を目指し、研究開発力の充実・強化を図るべく、積極的に経営資源を投入しています。

6つの研究所からなるJT医薬総合研究所では、各研究所が有機的に連携を図りながら、重点研究開発領域(糖・脂質代謝、免疫・炎症、ウイルス)で新薬の研究開発を行っています。

また、当社は、JTとの共同開発品の上市及び価値最大化に取り組むほか、新規導入品の獲得及びJTとの連携強化による革新的医薬品の共同開発の推進に取り組んでおります。現フランチイズ領域の周辺まで探索・導入・共同開発のターゲットを拡大し、当社及びJTの強みを生かした柔軟な戦略を展開しております。

主要製品・商品



レミッチ
経口そう痒症改善剤

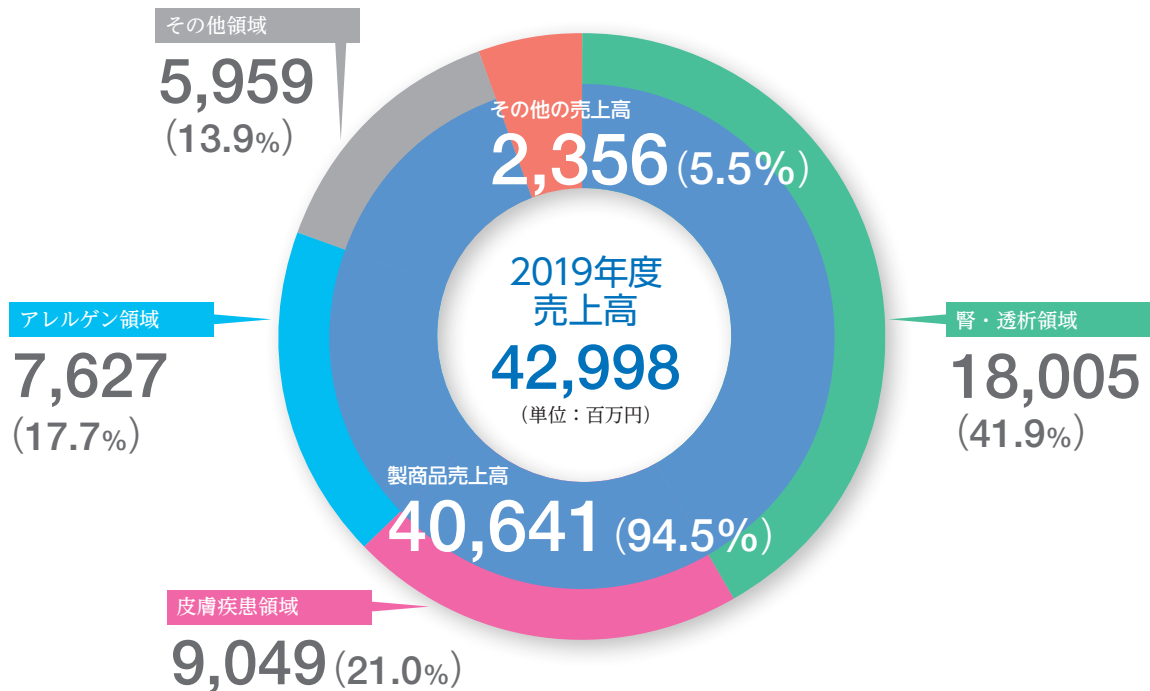


リオナ錠
高リン血症治療剤



アンテペート
外用副腎皮質ホルモン剤

領域別売上高



主要製商品別売上高

(単位：百万円)

品名	2018年度	2019年度
レミッチ 経口そう痒症改善剤 腎・透析領域	11,598	8,693
リオナ錠 高リン血症治療剤 腎・透析領域	6,603	6,630
アンテベート [※] 外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚疾患領域	5,536	5,439
シダキュア スギ花粉舌下錠 [※] スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 アレルゲン領域	405	3,654
ミティキュア ダニ舌下錠 [※] ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬 アレルゲン領域	1,247	2,749
シダトレン スギ花粉舌下液 [※] スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 アレルゲン領域	1,859	924

※自社品



シダキュア スギ花粉舌下錠
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬



ミティキュア ダニ舌下錠
ダニアレルギーのアレルゲン免疫療法薬



シダトレン スギ花粉舌下液
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬